

栗原市

被災地との通信確保

復興計画 最終案に3項目追加

岩手・宮城 内陸地震

岩手・宮城内陸地震の
復旧・復興に向け、本年

度内の震災復興計画策定
を進めている栗原市は十
二日、計画に被災者ら市
民の意見を反映させる市
民検討会の第三回会合を
市役所で開き、七十九項

目の事業案を盛り込んだ
復興計画の最終案を提示
した。前回の会合から新たに
追加された事業案は、ラ
イフラインが寸断された

被災地との情報通信を可
能にする「栗原市災害情
報ホットライン(仮称)」
整備、被災した住宅の裏
山の斜面復旧、栗原中央
病院敷地内への災害時用

定。物資備蓄倉庫建設の三項
目。ホットラインは慶大が
開発し、二日に市内でデ
モンストレーションが行
われた「ライフラインス
テーション」を想定して
いる。市は、今回の会合で
上がった意見を基に復興
計画をまとめ、次回
十八日の会合で示す予

定。委員の一人、花山震災
復興の会「がんばっぺ」
の大山幸義会長(55)は
「市も最大限の努力をし
てくれたと思う」と話し
た。復興計画案は「市民
生活の再生」「産業・
経済の再建」「防災の
まちづくり」の三点を
基本目標に掲げてい